

ここまできたコンクリートの自己修復

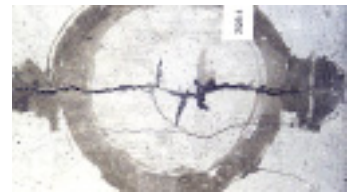
(JCI-TC075B セメント系材料の自己修復性とその利用法研究委員会)

コンクリートに存在する未水和セメントを用いて、ひび割れの発生後に再水和させる方法や、補修材を封入したパイプを予め埋設し、ひび割れ発生とともにその部分を修復する人工デバイスを用いた方法など、いわゆる”自己修復(治癒)”に関して、いずれも実用化あるいは設計段階で予め考慮できるほどのデータの蓄積および定量的な評価がなされていません。セメント系材料の自己修復性とその利用法研究委員会(委員長:五十嵐心一 金沢大学教授)では、これらの自己修復機能に関する既往の研究を再整理し、セメント系材料の自己修復機能の定量化、さらに、数値解析による予測技術の確立、自己修復機能のポテンシャルを高めた高機能材料開発の可能性について議論をしています。

JCI 年次大会 08 福岡では、下記のとおり研究集会を開催します。①委員会での議論の概要紹介、②海外や他分野での動向紹介、③日本における当該研究分野の最新情報の紹介、④パネルディスカッション、を予定しています。ふるってご参加ください。

- 日時** 平成 20 年 7 月 10 日(木) 9:00~12:00
- 場所** 4 階 404-406 室 (JCI 年次大会 会場内)
- 参加費** 無料
- プログラム**

- 9:00-9:05 委員会趣旨説明, 概要など...五十嵐 心一 司会 丸山 一平
- 9:05-9:35 コンクリートの自己修復の再整理...国枝 稔
- 9:35-10:50 委員からの最新情報
 - <自然治癒系>...濱田 秀則, 佐川 孝広
 - <自律治癒系>...安 台浩, 細田 暁
 - <自動修復系>...西脇 智哉
- 10:50-11:00 休憩

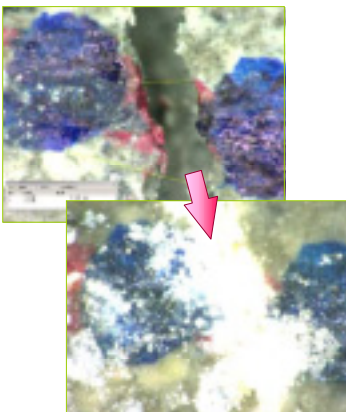


自動修復したひび割れ(西脇幹事提供)

- 11:00-12:00 **パネルディスカッション**
- コーディネーター 三橋 博三 東北大学教授
(専門:建築構造・材料)
- パネリスト 岸 利治 東京大学准教授
(専門:コンクリート機能・循環工学)
- 宮川 豊章 京都大学教授
(専門:コンクリート構造物の維持管理)
- 山田 一夫 太平洋セメント(株)中央研究所
(専門:セメント化学)

(五十音順)

※プログラム, 発表者等が変更となる場合があります。



自律治癒したひび割れ(細田委員提供)